

教科名		聖 書 科	科 目 名	聖 書 入 門
対象学年		中学 1 年	コース・選択等	――
単位数		1 単位	教 科 書 (出版社)	聖書・「聖書」 (日本キリスト教団出版局)
使用教材		「聖書資料集」(日本キリスト教団出版局)		
学習の ねらい		聖書・礼拝・祈り・主の祈り・賛美について基礎的なことを学び、身に着けると共に、旧約聖書から新約聖書を概観し、神様が共にいて導いてくださっていることと神の愛について学ぶ		
学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	ね ら い	聖 書
	1 学期	1. オリエンテーション 2. 礼拝堂で礼拝しよう 3. 聖書について 4. 祈りについて 5. 主の祈り① 6. 主の祈り② 7. 金城学院とキリスト教 8. 賛美について	金城学院がキリスト教の学校であることを知ると共に、学校生活に関わる聖書・礼拝・祈り・主の祈り・賛美について学ぶ	箴言 1:7 マタイ 6:9-15 ルカ 11:2-4 など
	2 学期	1. 旧約聖書を学ぼう① 2. 旧約聖書を学ぼう② 3. 旧約聖書を学ぼう③ 4. 旧約聖書を学ぼう④ 5. 新約聖書を学ぼう① 6. 新約聖書を学ぼう② 7. 新約聖書を学ぼう③ 8. 新約聖書を学ぼう④	①旧約聖書から新約聖書への歴史の流れを概観し、旧約聖書から新約聖書へとつながる神様の導き、愛について学ぶ。 ②クリスマスの出来事について詳しく学ぶ	①創世記、出エジプト記、ルツ記、サムエル記、列王記など抜粋して読む。 ②マタイ 1:1-2:12、ルカ 1:5-2:21
	3 学期	1. キリスト教の暦 2. 新約聖書を学ぼう⑤ 3. 新約聖書を学ぼう⑥ 4. 新約聖書を学ぼう⑦ 5. 新約聖書を学ぼう⑧	キリスト教の暦を通して、十字架・復活・聖霊降臨について概観する。	マルコ 11:1-16:8の抜粋と、使徒言行録 2:1-13
学習の 留意点・ 評価など		聖書に親しみ、神様によって導かれ、愛されていることを知るよう導く。 評価：知識・技能（定期試験）、思考・判断表現（定期試験）、主体的に取り組む態度（ミニテスト・レポートなど）		

教科名		聖書科	科目名	旧約聖書
対象学年		中学2年	コース・選択等	——
単位数		1単位	教科書 (出版社)	聖書・「聖書」 (日本キリスト教団出版局)
使用教材		「聖書資料集」(日本キリスト教団出版局)		
学習のねらい		時代にそって旧約聖書の概要を掴み、新約聖書へとつながる神様の導きを知る。 また、登場人物の生き方・在り方を知り、自分自身の成長の一助とする。		
学習 内容 と 流れ	学期・ 月等	単元	ねらい	聖書
	1学期	1. オリエンテーション 2. 旧約聖書を学ぶ、天地創造 3. 人間の創造、アダムとエバ 4. カインとアベル、バベルの塔 5. アブラハム 6. イサク 7. 絵本づくり ヤコブ① 8. 絵本づくり ヤコブ② 9. 絵本づくり ヤコブ③	①旧約聖書を概観し背景を学ぶ ②天地創造物語と族長物語を通して神の愛と人の在り方を学ぶ	創世記
	2学期	10. 絵本づくり ヤコブ④ 11. 絵本づくり ヤコブ⑤ 12. 絵本づくり ヤコブ⑥ 13. 絵本づくり ヤコブ⑦ 14. ヨセフ 15. モーセ 16. 王国の建設①(士師～サウル) 17. 王国の建設②(ダビデ)	エジプト脱出から王国建設の歴史の流れを概観し、共同体の形成について学ぶ	創世記 出エジプト記 ヨシュア記 サムエル記上・下 など
	3学期	18. 王国の建設③(ソロモン～王国分裂) 19. 預言者①エリヤ 20. 預言者②イザヤ 21. バビロン捕囚と解放、主イエスの誕生まで 22. 文学書	「預言者」の働きとメシア待望に至る流れを学ぶ	列王記上 イザヤ書 詩編 など
学習の留意点・評価など		旧約聖書の物語性に親しみ、登場人物に自分を照らしつつ読む。共同体形成の過程(歴史)に貫かれる救いを把握させる。ノート作成・論述の力を養う機会を設ける。 評価: 知識・技能(定期試験)、思考・判断表現(定期試験)、主体的に取り組む態度(レポートなど)。		

教科名	聖書科		科目名	新約聖書
対象学年	中学3年		コース・選択等	——
単位数	1単位		教科書 (出版社)	聖書・「新約聖書の教え」 (キリスト教学校教育同盟編) 創元社
使用教材	「聖書資料集」(日本キリスト教団出版局)			
学習のねらい	新約聖書のマタイによる福音書を中心に、イエス・キリストの歩みを学び、イエス・キリストにおいて実現された神の愛を知ること、神に愛されていること、隣人を愛することを学ぶ。また、受難から教会の誕生・パウロについて学ぶことで、今の自分たちに聖書がつながっていることを知る。			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	聖書
	1学期	1. ガイダンス 2. 旧約聖書からのつながり 3. 洗礼を受ける 4. 誘惑を受ける 5. 弟子を招く 6. 教え①②山上の説教 7. たとえ話①タラント 8. たとえ話②ぶどう園 9. 奇跡①百人隊長のしもべを癒す	旧約聖書からのつながりを復習し、イエス・キリストの歩みを特に教え・たとえ話を中心に学ぶ	マタイ 1:1-18 マタイ 3:1-17 マタイ 4:1-17 マタイ 4:18-22 マタイ 5-7章 マタイ 25:1-13、14-30 マタイ 9:18-26
	2学期	10. 奇跡②5千人に食べ物を与える 11. 盲人のいやし 12. エルサレム入城、宮きよめ 13. ベタニアで香油を注がれる 14. 過越しの食事・洗足 15. ゲツセマネの祈り・逮捕 16. 最高法院・ピラトの裁判 17. 十字架の死 18. まとめ	奇跡物語と受難物語を中心に学ぶ	マタイ 20:29-34 マタイ 14:13-20 受難物語は、マタイによる福音書21:1-28:20の該当箇所
	3学期	19. 復活 20. ペンテコステ 21. パウロの生涯①パウロの回心 22. パウロの生涯②伝道旅行 23. パウロの生涯③手紙 24. まとめ		マタイ 28:1-20 使 1:3-26 使 2:1-47、4:32-37 使徒言行録の該当箇所手紙など
学習の留意点・評価など	新約聖書を通して神の愛を実感すると共に、自分に語りかけられている神の言葉として聞くことができるよう導く。 評価：知識・技能（定期試験）、思考・判断表現（定期試験）、主体的に取り組む態度			

教科名		聖書科	科目名	聖書
対象学年		高校1年	コース・選択等	必修
単位数		1単位	教科書（出版社）	『聖書』
使用教材		教材プリント、ファイル、課題図書		
学習のねらい		新約の福音書、使徒言行録、書簡を読み、イエス・キリストに出会った人たちを通して、自分の生き方を捉え直す。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	4月	1. オリエンテーション	挨拶、授業の進め方、金城学院の創設、金城学院の歴史	
		2. 聖書の神様を「信じる」	「願いを聞き入れる神様」、「心の奥底で出会う神様」の理解と適応	ルカ 1:26-56
	5月	3. 神様の「とき」を知る	「とき満ちる神様の業」、「人生に見る神様のしるし」の理解と適応	ルカ 2:1-38
		4. 神様に「守られる」	「神様と言う家」、「神様の家に住み続ける」の理解と適応	ルカ 2:41-4:20
		5. 「新しく」される人	「平和を作りだす人」、「自ら進んで救す人」の理解と適応	ルカ 6:27-49
	6月	6. 神様からの「愛」	「目に見えない愛」、「神様の愛に生きる」の理解と適応	ルカ 10:21-42
		7. 神様以外を「恐れない」	「私を知る神様」、「行く道を照らす神様」の理解と適応	ルカ 12:1-40
		8. 愛される命を「生きる」	「人間の愛」、「父なる神様と子なる主イエスの愛」、の理解と適応	ルカ 15:1-32
	7月	9. 主イエスと「私たち」	「十字架の愛」、「復活の力」、「主イエスの愛に出会う」の理解と適応	ルカ 23:44-24:32
	9月	10. 神様への「祈り」	「私たちの祈り」、「私たちの心」、「私たちの希望」の理解と適応	ルカ 11:1-36
		11. 神様からの「恵み」	「目が見える」、「罪の木から降りる」、「愛を信じる」の理解と適応	ルカ 18:35-19:27
		12. 広がり行く「神の国」	「神の国はどこに」、「永遠と有限」の理解と適応	使徒 1:1-26

	学期・ 月等	単 元	ね ら い	留 意 点
学 習 内 容 と 流 れ	10 月	13. 「聖霊」と共にある	「聖霊に満たされる」、「聖霊を信じること」の理 解と適応	使徒 2:1-47
		14. 私たちの「罪」	「目で犯す罪」、「神様の愛に生き得ない罪」の理 解と適応	使徒 3:1-4:14
		15. 神様に「従う」人	「自由と支配」、「聖書の基準」の理解と適応	使徒 5:12-42
	11 月	16. 神様の「御言葉」	「神様の言葉」、「神様の赦し」、「神様の愛」の理 解と適応	使徒 6:1-8:35
		17. 神様による「選び」	「この世の光と闇」、「神様の御心」、「洗礼」の理 解と適応	使徒 9:1-26
		18. 人生の中での「経験」	「経験の意味」、「聖書から知る経験の意味」の理 解と適応	使徒 10:9- 10:35
		19. 私たちの「属するところ」	「属する場所」、「身に着けているもの」の理解と 適応	使徒 11:19- 12:19
		20. 私たちの「あるべき関係」	「神様のと人の関係」、「人と人の関係」の理解と 適応	使徒 16:16-40
	12 月	21. 私という「存在」	「違いと役割」、「選びと使命」の理解と適応	使徒 17:16-33
		22. 私たちの「力」	「人間の力」、「神様の力」の理解と適応	使徒 18:4- 20:21
	1 月	23. 神様に「委ねる」人生	「人生の計画」、「人生を委ねる」の理解と適応	使徒 20:13- 20:28
		24. 神様の「真実」	「真実と偽り」、「真実による力」の理解と適応	使徒 22:30- 23:22
		25. 神様の「道」	「行き留まる道」、「逃れの道」の理解と適応	使徒 27:13-44
	2 月	26. 狭い「門」から入る	「自由な選び」、「目標を目指す」の理解と適応	コリ I 1,3,9
		27. キリストの「体」	「部分と全体」、「弱さの意味」の理解と適応	コリ I 12,13
		28. まとめ	1 年間の学びを文章でまとめる	
学習の 留意点・ 評価など		・ 聖書の物語や、書簡などに書かれている言葉を正しく理解する。 ・ さらに、その聖書理解を踏まえ、今の自分の生き方を捉え直してゆかせる。 ・ 定期考査の成績に加え、提出物や課題に取り組む姿勢によって評価する。		
備 考		・ 中学ですでに履修しているところは、さらに深い学習内容と授業展開を行う。 ・ 高1は、高校での聖書科の授業の基礎作りであるから、聖書の授業への姿勢も育てる。 ・ 高1は、自らの進路を考え始める時期であるから、そのことに配慮した授業とする。		

教科名		聖書科	科目名	聖書
対象学年		高校2年	コース・選択	必修
単位数		1単位	教科書 (出版社)	『聖書』 『聖書と人間』(新教出版)
使用教材		教材プリント、課題図書		
学習のねらい		旧約の物語を読み進めて、神に出会った人たちを通して、これからの自分の生き方を決定してゆけるようにする。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	4月	1. 天地創造	「人生」、「闇と光」、「夕べと朝」、「良し」の理解と適応	創世記 1:1-5
		2. 神のかたち	「古さと新しさ」、「支配」、「労働」の理解と適応	創世記 1:26-2:4
		3. エデンの園	「創造の物語」、「助け合う」、「自然とのかかわり」の理解と適応	創世記 2:4-25
	5月	4. 楽園喪失	「善悪を知る」、「破れ」、「呪い」の理解と適応	創世記 3:-24
		5. カインとアベル	「神の公平」、「アベルの血」、「しるし」の理解と適応	創世記 4:1-16
		6. ノアの洪水	「無垢な人」、「箱舟」、「鳩と虹」の理解と適応	創世記 6:1-9:
	6月	7. バベルの塔	「言語」、「塔のある町」、「降られる神」の理解と適応	創世記 11:1-9
		8. 旅人アブラハム	「歴史と伝説」、「旅人」、「故郷」、「行く先」の理解と適応	創世記 12:1-9
		9. とりなしの人アブラハム	「財産」、「土地」、「神の前に立つ」、「滅亡」の理解と適応	創世記 18:16-19:26
	7月	10. 信仰の父アブラハム	「約束」、「笑い」、「ここにいる」、「主の備え」の理解と適応	創世記 22:1-14
		11. エサウとヤコブ	「双子」、「石の枕」、「イスラエルという呼び名」の理解と適応	創世記 25-33
	9月	12. ヨセフ	「夢」、「共にある」、「再会と告白」の理解と適応	創世記 37-50
		13. 引き上げられたモーセ	「引き上げられる」、「現れる神」、「自分は何者」の理解と適応	出エジ 1-4
		14. エジプト脱出	「かたくな」、「過ぎ越しの羊」、「紅海」の理解と適応	出エジ 5-15

	学期・月等	単元	ね ら い	留 意 点
学 習 内 容 と 流 れ	10 月	15. 荒れ野の旅	「40 年の放浪」、「マナ」、「岩から水」の理解と適応	出エジ 16-18
		16. 十戒	「聖なる民」、「神への義務」、「人への義務」の理解と適応	出エジ 20:1-17
		17. サムソン	「士師」、「恋」、「大力と秘密」の理解と適応	士師 13-16
	11 月	18. ルツ	「姑と嫁」、「落ち穂拾い」、「永遠の喜び」の理解と適応	ルツ
		19. サムエル	「時代の転換」、「僕は聞く」、「油そそぎ」の理解と適応	サム I 1-15
		20. ダビデ	「美少年」、「流浪と滅亡」、「偉大な王国」の理解と適応	サム I 16- サム II 12
	12 月	21. ソロモン	「聞き分ける心」、「栄華」、「神殿の建造」の理解と適応	列王 I 1-11
		22. エリヤ	「危機」、「養い」、「ささやく声」の理解と適応	列王 I 17-19
	1 月	23. アモスとホセア	「預言者」、「正直で親切」、「恐れ」、「勇気」の理解と適応	アモス、ホセア
		24. イザヤ	「派遣」、「立ち帰る」、「救い」、「平和」の理解と適応	イザヤ 1-39
		25. エレミヤ	「建てる」、「虚しい言葉」、「呪い」、「新しい契約」の理解と適応	エレミヤ
	2 月	26. 第 2 イザヤ	「第 2 イザヤ」、「苦難の僕」、「慰め」の理解と適応	イザヤ 40-50
		27. ヨブ	「苦難」、「皮膚病」、「嘆き」、「因果」の理解と適応	ヨブ
		28. ヨナ	「神の言葉」、「魚の腹の中」、「悔い改め」、「神の愛」の理解と適応	ヨナ
	3 月	29. 信仰の生き方（論述）	旧約の登場人物の生き方と信仰を振り返り、自分の生き方と比較省察	
学習の留意点・評価など		・聖書の物語や、書簡などに書かれている言葉を正しく理解する。 ・さらに、その聖書理解を踏まえたうえで、これからの自分の生き方を決定してゆかせる。 ・定期考査の成績に加え、提出物や課題に取り組む姿勢によって評価する。		
備 考		・中学ですでに履修しているところは、さらに深い学習内容と授業展開を行う。 ・高 2 は、旧約を人物に焦点を当てて読み、聖書を生き方としての視点をもって理解する。 ・高 2 は、自らの進路を決定してゆく時期であるから、そのことに配慮した授業とする。		

教科名		聖書科		科目名	聖書
対象学年		高校3年		コース・選択	必修
単位数		1単位		教科書 (出版社)	『聖書』
使用教材		教材プリント、ファイル、課題図書			
学習のねらい		これまで学んできた新旧約をプロテスタントのカテキズム（教理）に従って精読し、自分の選んだ生き方を積極的に歩んでゆくために、聖書の言葉を心に刻む。			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	テーマ		聖書（小題）
	4月	1. オリエンテーション	1. 学習のねらいの把握		授業の進め方、年間の単元の説明、6年間の聖書の学び
		2. 天地の創造	信仰	2. 新しい命の輝き	創世記1（「はじめにある神」、「世の秩序」、「6日間の創造」）
		3. 人間の創造		3. 人として生きるため	創世記2（「土からの創造」、「パートナー」、「土へ帰る者」）
	5月	4. ノアの方舟		4. 与えられている命	創世記2（「虹（神様の祝福）」、「約束」、「方舟（家族）」）
		5. モーセの出生		5. 生きるための視点	出エジ1（「エジプトの状況」、「イスラエルの捕囚」、「モーセの誕生」）
		6. モーセの罪		6. 人生の分岐点	出エジ2（「モーセの罪」、「モーセの決意」、「神様の契約」）
	6月	7. モーセの召命		7. 信じることの強さ	出エジ4（「モーセの召命」、「神様のしるし」、「助ける者」）
		8. 十戒（序、1－3戒）		8. 生きるための戒めⅠ	出エジ20（「唯一の神」、「偶像を退け」、「神に誓うこと」）
		9. 十戒（4－7戒）		9. 生きるための戒めⅡ	出エジ20（「安息の日」、「家族」、「命の重さ」、「結婚、出産」）
	7月	10. 十戒（8－10戒、結）		10. 生きるための戒めⅢ	出エジ20（「盗むこと、分かち合うこと」、「偽りと真実」、「貪りと感謝」）
		11. 神の試練		11. 壁を越えて行こう	出エジ14（「エジプト脱出」、「イスラエルの罪」、「海を分ける奇跡」）
		12. 神の選び		12. 努めて得られるもの	申命記6-7（「与えられているもの」、「宝の民」、「今を生きる」）
	9月	13. 福音の初め	救い	13. 自らのミッション	マルコ1（「プロローグ」、「弟子のミッション」、「主イエスの評判」）
		14. 福音の宣教		14. 心を高く上げて	マルコ2（「中風の癒し」、「罪人の招き」、「新しい革袋」）
		15. 弟子の任命		15. 人生に期待する	マルコ2-3（「12弟子の任命」、「理解者と無理解者」）

学 習 内 容 と 流 れ	学期・ 月等	単 元	テ ー マ		聖 書 (小題)
	10 月	16. 種まきのたとえ		16. 豊かに成長する	マルコ 4:5 (「道端の地」、「石地」、 「茨の地」、「そのままの地」)
		17. 奇跡物語		17. 隣人との交わり	マルコ 6 (「神の愛」、「神の奇跡」、「す べての満足」)
		18. この世の力		18. 新しい自分と出会う	マルコ 7:9 (「悪しき習慣」、「新しい 自分」、「生きる基準」)
	11 月	19. エルサレム入場	救い	19. 本物の愛	マルコ 10:12 (「愛の戒め」、「神への 愛」、「隣人への愛」)
		20. 最後の晩餐		20. 理想と現実のはざま	マルコ 13:14 (「運命」、「人の限界」、 「罪と死」、「欲望」)
		21. キリストの十字架		21. 罪から解かれる道	マルコ 14:15 (「人間的な愛」、「誓い」、 「裁き」、「罪と赦し」)
	12 月	22. キリストの復活		22. 死を見つめて	マルコ 16 (「復活の日」、「週の始ま り」、「礼拝の日」)
		23. Whiteline	23. 6年間のまとめ		6年間の「礼拝」、「聖書の授業」、「宗 教行事」を自ら振り返る
	1 月	24. 神の知恵		24. 知恵を求めて	ローマ 1:6 (「見えないもの」、「尽き ない恵み」、「まことの希望」)
		25. 神の愛		25. すべてがプラス	ローマ 7:9 (「望んでいる自分」、「神 の愛」、「土の器の創り主」)
		26. 神の義		26. 人を動かす力	ローマ 10:13 (「神の言葉」、「神への 信仰」、「光の武具」)
2 月	27. 神の賜物	感謝	27. 宝を探し出す	コリ II (「土の器」、「内なる人と外な る人」、「受けている賜物」)	
	28. 神の恵み		28. 今日が救いの日	エフェ (「秘められた計画」、「光の 子」、「神の武具」)	
	29. まとめ		29. 聖句を振り返る		区切りのときに語られた聖書の言葉、 及び、年間聖句
学習の 留意点・ 評価など		・ 聖書の物語や、書簡などに書かれている言葉を正しく理解する。 ・ さらに、その聖書理解を踏まえたうえで、今の自分の生き方を捉え直してゆかせる。 ・ 定期考査の成績に加え、提出物や課題に取り組む姿勢によって評価する。			
備 考		・ 中学や高校ですでに履修しているところは、さらに深い学習内容と授業展開を行う。 ・ 高3は、卒業修養会と卒業礼拝があるので、それらの行事と関連させた授業とする。 ・ 高3は、決定した進路を歩み始める時期であるから、そのことに配慮した授業とする。			